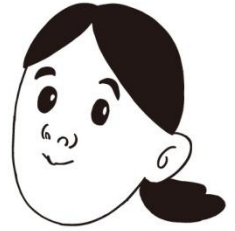


みずま雪絵の 区議会レポート

NO.18 2018/4



〒125-0063 葛飾区白鳥 3-26-13 中村荘101

TEL 03-6662-7623

FAX 03-6662-7617

e-mail info@mizuma-yukie.org

HP <http://mizuma-yukie.org>

第1回定例会 報告

2018年度予算案は、賛成多数で原案可決されました。一般会計予算は2017年度よりも1億円多い1907億1千万円(過去最高)となっています。各会計予算の合計は、2896億8520万円です。また、区長提出議案 35件、議員提出の条例改正議案 5件、意見書提出議案 3件が審査されました。

2018年2月16日～3月28日で行なわれた葛飾区議会第1回定例会のご報告を致します。

区政一般質問

①保育人材の確保について

みずま) 人材確保のための処遇改善等、補助制度で歳出が増えてきている。補助金が適正に使われているか、区はどのように確認をしているのか伺う。

区) 賃金改善にあたっては、改善内容をあらかじめ職員に周知した上で行うとともに、事業終了後には賃金改善を行なった職員数や賃金改善方法、賃金改善の総額等について、実績報告することになっており、区に提出された報告書については、適正に賃金に充てられていることを確認している。



みずま) 人材確保のためには、働き続けられる環境をつくるのが重要だと考える。延長保育等では人材が集まりにくく、従事者の負担が増えてきている。労働実態に合わせた支援を行うことが必要と思うが区はどう考え

るのか伺う。

区) 延長保育にかかる経費については、実施時間や利用者数に応じた補助を行ってきている。保育所で働く保育士等の労働環境の整備は安定した保育を継続する上でも必要であることから、引き続き保育士の負担軽減も図り、支援を行っていきたいと考えている。

★ひとこと) 延長保育等では特に人材確保が困難になっており、一部の従事者に負担が増えてしまっているという実態は、区と認識を共有しました。待機児童の問題、保育人材確保の問題の根本は、働く人の実質賃金の上昇、ワークライフバランスの実現、残業せずとも八時間働けば安心して生活できる賃金になる、育児・介護休業法の「短時間勤務制度」が安心して利用できる等、働く人を取り巻く環境を変えていかねばなりません。その為には葛飾区自身も力を注ぐ必要があります。

②リリオ電有リノベーション絵本劇場の官民連携について

みずま) 公で行う事業、民で行う事業の違いはどこにあると区は考えているのか伺う。

区) 公共事業は、国または地方公共団体が公共の利益のために公共投資によって行う事業であり、一方、民間事業とは、民間の資本で営まれる営利追求を目的とした事業である。公共事業と民間事業の違いとは、その事業が利潤追求を目的としているか否かにあるものと考えている。

みずま) 公共サービスではない民間事業に税金を投入することを決める、区の判断基準や判断材料とはどういったものがあるのか伺う。

区) 絵本劇場は、子どもや親子だけでなく、多世代にわたる多くの区民に利用いただける、効果のある事業と判断し、区の負担を決めた。民間事業であってもその事業が区民サービス向上や地域の活性化に繋がるものであれば、区はそれらを総合的に勘案して民間事業者と連携・協働を行っている。民間事業に対する区の投資には、何らかの判断基準があるものではなく、個別に判断していくものとする。(他 1 問)

★ひとこと) 区の施策に位置づけていない民間事業に投資をすることについて、判断基準はないとの答弁でした。判断基準がなく、区民サービス向上、地域の活性化という一般的な判断であれば、恣意的に税金投入が決められていく可能性があります。区民にきちんと説明できる税金の使い方をすべきと考え

ます。今回、8000万円の予算が可決されましたが、今後、絵本劇場による地域活性の評価も踏まえ、注視していきます。

③地域公共交通会議の開催について

みずま) 地域公共交通会議を開催することでバス交通の充実のみならず、既存の公共交通の課題解決や新たなニーズに対しての検討・議論がより効果的に行えると考えるが、区の見解を伺う。

区) 区では今年度(2017年度)から公共交通網の構築に関する調査検討を行ってきており、新たな公共交通のサービス水準の設定などを進めており、来年度(2018年度)には公共交通に対する地域のニーズなどを把握し、課題解決が必要な地域を抽出したいと考えている。今後、抽出された地域の公共交通の課題解決を検討する際には、必要に応じて地域公共交通会議の開催を検討していく。

★ひとこと) バス交通の充実においては、需要の確認、採算性の検証としてバス社会実験が行われています。しかし、一定の期間でバス社会実験を行ない、新路線としての運行が決まらない例が多く見受けられ、効果的とはいえない状況であると考えています。区、事業者、区民、関係団体で成る地域公共交通会議を行うことで、バス交通の充実のみならず、新たなニーズに対しての検討・議論がより効果的に行なえると考えます。

2018年度予算にたいして

一般会計予算については、歳入面は納税義務者の増等による特別区民税 7 億円の増、特別区交付金 18 億円の増等により、1907億1千万円(過去最高)となっています。歳出面はリリオ亀有リノベーションプロジェクトの運営支援などで 13 億円の増、区立中学校の改修・改築で 8 億円増、私立保育所運営費が 14 億円の増等があります。みずま雪絵は、リリオ亀有リノベーション絵本劇場にみる、民間事業への今後の際限ない税投入を危惧しています。また、総合庁舎整備検討経費について、資金計画がしめされていないこと、また立石駅北口地区再開発と一体的に進められている庁舎建替えについて、地権者や区民同意が行われていない



まま、計画が進められていることに、疑問を感じます。また、正規職員の削減、公共サービスの委託・民営化を進める一方、サービスを支える働く人の不安定雇用や低賃金について、根本的に策をうたない区政運営に対し、異議があり、一般会計予算案について反対としました。国民健康保険、介護保険、後期高齢者医療の特別会計については、保険料引き上げがあり、区民の負担が増すため反対しました。

意見の分かれた主な議案	自民	公明	区民	共産	か維	無所属	無所属	無所属	無所属	みずま	無所属
平成30年度葛飾区一般会計予算	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×	○
平成29年度葛飾区一般会計補正予算(第4号)	○	○	○	×	×	○	○	○	○	×	○
葛飾区議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例(議員提出議案)	×	×	×	○	○	×	×	×	×	○	×

平成29年度葛飾区一般会計補正予算には、15億円総合庁舎建替への積立金へ15億円が計上されていました。総合庁舎整備が前提の立石北口地区再開発になっており、再開発の計画が変更後の試算金額が分からないということ、地権者・区民が取り残されているということ等の理由から反対としました。

議員提出議案の葛飾区議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例は、区議会議員の本会議等の為に区議会へ登庁すると支払われる費用弁償日額3000円を廃止する議案提案です。議員報酬は引き上がってきており、他自治体でも廃止が拡がってきている中、昔からの制度をそのまま続ける理由はありません。

安倍9条改憲NO！憲法を生かす全国統一署名

日本国憲法の民主主義、基本的人権の尊重、平和主義の諸原則が生かされる政治を求めるため、この署名にご協力をお願い致します。

区政/生活/労働 etc お気軽にご相談下さい。

また、ご意見もお待ちしております。

問い合わせは、みずま事務所 TEL・FAX・メールからお願い致します。